

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|----------|---|---|
| 事故等番号 | 2011広第36号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成23年2月27日 07時08分ごろ | |
| 発生場所 | 大分県大分市佐賀関町沖 ^{あしかばえ} 海瀬燈台から真方位261° 170m付近 (概位 北緯33° 16.8′ 東経131° 57.6′) | |
| 事故等調査の経過 | 平成23年2月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | <p>船種船名、総トン数</p> <p>漁船 ^{まつたか}松孝丸、1.4トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等</p> <p>OT3-27397（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報</p> <p>船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等</p> <p>なし</p> <p>損傷</p> <p>船底部に破口</p> | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長が1人で乗り組み、大分県 ^{ふなまじま} 船間島北東で機関を使用しながら漂流して一本釣り中、機関が停止し、風により短時間のうちに流され、平成23年2月27日07時08分ごろ、岩場に乗り揚げた。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 1、波高 約1m、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期 | |
| その他の事項 | 本船は、船長が、クラッチを中立にするため、機関の回転を下げたとき、下げ過ぎたために機関が停止した。 本船の本事故当時の喫水は、不詳であった。 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり あり あり 本船は、船間島北東で漂流中、船長がクラッチを中立にしようとして機関の回転を下げ過ぎたことから、機関が停止して風に流され、岩場に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、船間島北東で漂流中、船長がクラッチを中立にしようとして機関の回転を下げ過ぎたため、機関が停止して風に流され、岩場に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。 | |